



鳥栖北小HP <https://www.education.saga.jp/hp/tosukita-e/>

北小だより

第28号

令和8年1月16日（金）
鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 長尾 真司

TEL 0942-83-2296 FAX 0942-83-2709


国際交流(5年生)

学校のホームページはこちらから →



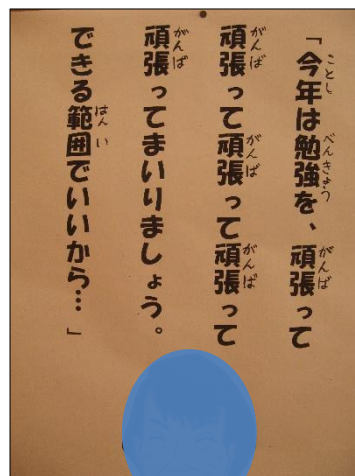
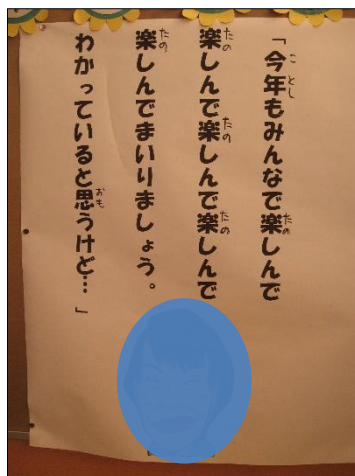
14日(水)総合的な学習で多言語に触れる活動をされているみなさん(ヒッポファミリークラブ)をお招きして、交流を行いました。今回は韓国から10人近くの留学生も参加していただき、ダンスやゲームなどいろんな言語を使って楽しく交流しました。5年生の担任も民族衣装に着替えて参加しました。北小の子どもたちは海外の方との交流には慣れているように感じました。

また5年生はこの他、沖縄県の与那国島の小学校とも交流をすることになっています。佐賀県は与那国町のみなさんの避難先になっており、鳥栖市も受け入れ先になっています。これをきっかけに総合的な学習の一環として、リモートでお互いの学校や地域のことを紹介することになりました。交流の様子は後日お知らせいたします。



校内の掲示

校内にはたくさんの掲示板があります。普段、ご覧になるのは教室がある南校舎の掲示板。北校舎西階段のおどり場にはこんな面白いものが掲示してあります。ある先生が毎月、しゃれが効いた、どこかほっこりする言葉を考えて掲示してくれているのです。授業参観でお越しの際、もしお時間があれば北校舎の掲示板もご覧ください。心がほっこりする言葉が掲示されていると思います。ご期待ください。このイラストのモデルは、どこかで見たような人です。



校長のひとりと

「作れるだけで幸せ。生きがいやけんね」 以前勤めていた学校の近くの小さなまんじゅう屋さんの言葉です。毎日できる範囲でまんじゅうを作り、お客さんにはたくさんおまけをされていました。もうけなどの見返りを求めず、ただ、元気にまんじゅうを作れることに喜びを感じていらっしゃる老夫婦でした。先日、子どもの下校についていき、見守り隊の方を見かけた時、「生きがいやけんね。」の言葉を思い出しました。地域のボランティアでお世話になった方にお礼を言うと、決まって、「元気をもらいました。」と言ってくれます。子どもたちはこんな方々にどうやって感謝の気持ちを伝えたらいいのでしょうか。まずは、笑顔で元気にあいさつすることからですね。